

2024（令和6）年度 入学者選抜試験問題

一般選抜Ⅱ期

国語総合（近代以降）（60分）

注意事項

1. 監督者の指示があるまで問題を開かないでください。
2. 問題冊子は17ページあります。ページの落丁、乱丁および解答用紙の汚れなどに気づいた場合は、無言で手を高く挙げて監督者に知らせてください。
3. 監督者の指示にしたがって、解答用紙に氏名、フリガナ、受験番号をそれぞれ正しく記入・マークしてください。受験番号は、受験番号欄の上部に10桁の番号を算用数字で記入し、下部に番号をマークしてください。正しく記入・マークされていない場合、採点の対象となりません。
4. 解答は、次の（例）を参考にし、解答用紙の解答記入欄にマークしてください。なお、正しくマークされていない場合は、採点できません。

（例）解答番号1に対して、⑤と解答する場合

解答番号	解 答 記 入
1	① ② ③ ④ ⑤

5. 訂正箇所は、消しゴムできれいに消してください。
6. 解答欄には、関係のない符号や文字あるいはメモなどを記入しないでください。
7. 試験終了後、解答用紙を訂正することは一切できません。
8. 解答用紙を折ったり汚したりしないでください。
9. 問題冊子の余白部分は、適宜利用してもかまいません。
10. 声を出して問題を読んではいけません。
11. 不正行為について
 - ①不正行為に対しては厳正に対処します。
 - ②不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が直接注意します。
 - ③不正行為を行った場合は、全ての科目が失格となります。
12. 気分が悪くなった場合は、無言で手を挙げて監督者に知らせてください。
13. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

国語

(解答番号は 1 から 39)

1 次の文章を読んで、後の問い（問1～8）に答えよ。解答番号は 1 から 12。

「芸術」という日本語は近頃、一般にあまり好まれなくなり、その代わりに「アート」という言葉も多くの人を使うようになりました。日本語の「アート」は、「フアイン・アート(芸術)」の略称として使われているわけですが、本来「アート」という(ア) カインは、いわゆる「芸術」を超えたはるかに広い意味、「技術」や「技」「やり方」というような意味を持っています。芸術とはそうした技術一般の中の「美しい技術」、言い換えれば何か他の目的に(イ) がウシする手段としての技術ではなく、それ自身が目的であるような技術のことを言います。これが(注1) カントによる芸術の定義です。【I】

一方、「アーティフィシャル」という英語には、自然のものではなく「人工の」という(a) 中立的な意味の他に、「無理がある」「わざとらしい」といったネガティブな意味があります。人工知能における「アーティフィシャル」は、言うまでもなく中立的な意味です。一方、例えば an artificial smile (アーティフィシャルな笑い) と言ったら、「作り笑い」というような意味です。しかしながら、作った笑いがすべて「わざとらしい」わけではありません。役者は演技で笑うことができますが、優れた演技は作為でありながら、わざとらしくあつてはなりません。それは自然の模倣、つまり「本当に笑っているように見える」必要がありますが、さらに言うなら、それ以上が望まれます。つまりおかしい言い方ですが、本物の自然よりも「自然」であるべきなのです。優れた役者は演技で「作り笑い」すらできますが、A それは人が何かを妖魔化そうとして思わず見せる「作り笑い」よりも、ある意味もごと「作り笑い」らしくなければなりません。【II】

このように芸術においては、自然と技術との間には単純な対立はありません。むしろ、互いが互いを反映しつつ、相互に作用し合うような関係がそこにあります。自然と技術との(注2) インタラクションこそが、いわば芸術を(ウ) グドゥするエンジンなのです。このことから、機械と芸術との関係について改めて考えてみるなら、そもそも「AIにアートは可能か？」というような問いそのものが、自然 vs. 技術、芸術 vs. 機械といった対立や、そうした対立を b とする先入観によつて、大きく歪められた問題であることが分かります。ナイチンゲールの啼き声をそっくりに真似る少年がいるように、(注3) 美空ひばりそっくりに歌ったり、(注4) レンブラントそっくりの絵を描く機械が存在することは、テクノロジーとしては驚くべき達成ですが、芸術的な観点から言うなら、特に

驚くべきことではないのです。それは自然を冒^{ほう}流^{りゅう}するものでも、芸術にとって脅威となることでもありません。【Ⅲ】

重要なことは、「AIは人間の創造行為にとって脅威となる」というような固定観念から、早く自由になることです。そのためには、次のような問いを考えてみる必要もあるでしょう。すなわち、AIが描いた絵画を私たちがレンブラントによる芸術作品と見間違えるのは、実は私たちがこれまで「レンブラント」の中に観^みてきたものが、本当は「芸術」などでは少しもなく、単なる「レンブラントらしさ」に過ぎなかったからではないか？という問いです。c 私たちは、B「芸術」と「芸術らしさ」とを混同してきたのではないが、ということです。「らしさ」の認識や構築、つまり事実の持つ複雑で膨大な特徴要素を正確にブ^ン（エ）セギしたり、その結果を用いて再構成する能力においては、言うまでもなく人間よりも機械の方がはるかに優れています。d、そうした競争で私たちがAIに敗北するのは、まったく当たり前なのです。言ってみれば、AIが創造行為にとって脅威に感じられるとすれば、それは、私たち人間自身が創造などしておらず、AIと同じことしかしてこなかったからではないか、ということです。AIが人間に（オ）チヨウセンしているように感じるのは、実は私たち人間が自分自身を（能力の劣った）AIとして理解してきたからではないか、と問うべきなのです。【Ⅳ】

これがおそらく、（注5）「アーティフィシャル・マインド」という言葉が持ちうる、もう一つの意味です。それは、私たちが知らず知らずのうちに、自分のことを「アーティフィシャル」なものとして理解するようになってしまったのではないか？ということです。e 「芸術」とは、「芸術らしさ」の全体とイコールではなく、むしろその外にある何かです。それと同じように「マインド」とは、アーティフィシャルに実現可能なすべての機能の外部にある何ものかのことです。そしてこのことが、現代のテクノロジーが私たちに教えてくれる本質的な教訓なのだと思います。

（吉岡洋「マインドとアーティフィシャル・マインド」〈河合俊雄・吉岡洋・西垣通・尾形哲也・長尾真『マインドとアーティフィシャル・マインド』所収〉より。本文中に一部省略・改変したところがある。）

- （注） 1 カント —— ドイツの哲学者（一七二四―一八〇四）。
 2 インタラクション —— 相互作用。
 3 美空ひばり —— 第二次大戦後の代表的な流行歌手。
 4 レンブラント —— オランダの画家（一六〇六―一六六九）。
 5 「アーティフィシャル・マインド」 —— 筆者は、「アーティフィシャル・マインド」（＝「人工的なマインド」）という語を用いて、まるでマインドを持っているかのように接することができる人工知能の存在と人間自身のマインドの関係について考えている。

問 1 傍線部(ア)～(オ)に相当する漢字を含むものを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は 1 ～ 5。

(ア) ガイネン 1

- ① テンガイのついたベッドで眠る
- ② 人心が荒廃しガイタンに堪えない
- ③ ガイヘクな知識に圧倒される
- ④ 調査結果をガイカツして報告する

(イ) ボウシ 2

- ① 宗教上の戒律をシェンボウする
- ② ネンボウ制の導入を検討する
- ③ しきたりにとらわれずホンボウに生きる
- ④ この夏はメツボウ暑かった

(ウ) クドウ 3

- ① 蔵書を分野ごとにグブンする
- ② 人生の真理をついたケイクを吐く
- ③ 悪貨は良貨をクチクする
- ④ 局面の打開にクリヨする

(エ) ブンセギ 4

- ① 必要な機能を一つのチップにシエウセギする
- ② 水溶液から結晶をセギシエツする
- ③ 上司が部下を激しくシツセギする
- ④ 外国製品をハイセギする運動が起こる

(オ) チョウセン 5

- ① 全身をばねにして大きくチョウヤクする
- ② 展望台から市街をチョウボウする
- ③ 何を言われようとチョウゼンとしている
- ④ チョウハツに乗らず冷静に対応する

問 2 傍線部 (a) 「中立的な」と同じような意味を表す言葉として最も適当なものを、次の

①～④のうちから一つ選べ。解答番号は **6**。

- ① ポジティブ ② ニュートラル ③ ペッシブ ④ ラジカル

問 3 空欄 **b** に入る語句として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解

答番号は **7**。

- ① 自明 ② 不毛 ③ 条件 ④ 命題

問 4 空欄 **c** と **e** に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうち

から一つ選べ。解答番号は **8**。

- | | | | | | | |
|---|---|------|---|-------|---|------|
| ① | c | つまり | d | だから | e | けれども |
| ② | c | そして | d | なぜなら | e | あるいは |
| ③ | c | すなわち | d | したがって | e | だから |
| ④ | c | だから | d | しかし | e | ところが |

問 5 次の一文は本文からぬき出したものである。これを戻す位置として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 9。

むしろ、そうした新たな技術的達成は、芸術表現の可能性を大きく広げる希望と考えるべきです。

- ① 【Ⅰ】 ② 【Ⅱ】 ③ 【Ⅲ】 ④ 【Ⅳ】

問 6 傍線部 A 「それは人が何かを誤魔化そうとは思わず見せる『作り笑い』よりも、ある意味もっと『作り笑い』らしくなければなりません」とあるが、どういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 10。

- ① わざとらしい笑いである「作り笑い」であつても、役者が演技として見せる以上、演技としてのわざとらしさが感じられてはならないということ。
- ② 役者が見せる「作り笑い」は、その笑いが演技である以上、いかにも「作り笑い」であると見る人に認識してもらう必要があるということ。
- ③ 「作り笑い」を役者が演技として見せるときには、自然に見えるようにわざとらしいことを演じるという難題をこなさねばならないということ。
- ④ 見ている人に「作り笑い」を演じていると伝えるために、優れた役者であればあるほど、作為が目立つ演技をしがちになるということ。

問7 傍線部B「芸術と『芸術らしさ』とを混同してきたのではないか」とあるが、どういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 11。

- ① A Iが描いたレンブラントの絵画はいわば贋作^{がくぞう}であるが、それをレンブラント自身が描いた絵画だと信じ込むのは、私たちに芸術を見抜く目がなく、本物と偽物との区別をつけられないということを意味しているのではないかということ。
- ② レンブラントの絵画そっくりの絵をA Iが描いたとしてもそれは完全な人工物であり、レンブラントという芸術家による創造物ではないが、違いが見分けられないのは、私たちがレンブラントの絵画を理解していないからなのではないかということ。
- ③ A Iが描いた絵画には人間のみが持つ創造性は発揮されておらず、単なる画家の手法の模倣に過ぎないのに、それをレンブラントが描いた絵画だと信じてしまうのは、私たちが芸術における創造性を重視していないからではないかということ。
- ④ レンブラントの作品群から特徴要素を抽出して再構成したA Iによる絵画を本人の作品と見間違えるのは、私たちがレンブラントの作品を芸術として鑑賞するのではなく、その特徴に当てはめて鑑賞したつもりになっているからではないかということ。

問 8 この文章についての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

解答番号は 12。

- ① 芸術においては自然と技術の対立などありえないということを示す例を踏まえて「AIにアートは可能か?」といった問いを立てることの無意味さを指摘したうえで、「芸術」とは「芸術らしさ」全体の外側にある何かであり、「こころ」は、その外側にある何かと呼応するものであるということを描べている。
- ② 自然 vs. 技術、芸術 vs. 機械といった対立を超えた現代テクノロジーの驚くべき達成を例に挙げて述べつつ、そのテクノロジーが教えてくれる人間と芸術に関する本質的な教訓として、「こころ」とはアーティフィシャルに実現可能なすべての機能を包含したものの先にある何ものかにほかならないということを描べている。
- ③ カントによる芸術の定義との対比によつて「アーティフィシャル」という英語の持つ意味を考察し、その考察を通して人間が自分のこころを「アーティフィシャル」なものとして理解しがちなのは、アーティフィシャルな存在にも「こころ」を認めようとする心性があるからにほかならないということを描べている。
- ④ 「アーティフィシャル」という語の意味を考えつつ、AIは人間の創造行為によつて脅威となると思い込んでいる人間のAI観の背景に人間の「こころ」のとらえ方があることを指摘したうえで、「こころ」というものは、アーティフィシャルに実現可能であるものの外部にしかないということを描べている。

二 次の文章を読んで、後の問い（問 1 ～ 8）に答えよ。解答番号は 13 ～ 24。

見るたび暗澹^{あんたん}たる気分になるのは、海辺に打ち上げられたプラスチック製品の残骸の写真である。この時代に生きる人間の多くが、皆、何らかの形で、「加担してきた」ことの結果だ。無論、んな結果を望んでいた人などいない。けれど日常のちよつとした場から——コンビニ弁当でも駅前の大手チェーンのカフェでも——膨大な量のプラスチックが廃棄される運命にある。

この類^{たぐい}の容器が、最初に生活に入ってきたのは、豆腐のケースあたりだと思う。私が小学校に入学した年の前後であつた。その容器が嬉^{うれ}しくてドールハウスに重宝した。そうそう、それ以前から、鉄道の旅では駅弁とともに、お茶が紐^{ひも}付きのプラスチック容器（蓋が小さな湯呑み代わりになる）に入つて売られていて、これもまた持つていだけで旅の非日常感が感じられ、嬉しかったものだ。つまり、A そういうものが目新しく感じられた時代であつたのだ。

だがこのとき決定的に「目新しかった」のは、ものそのものではなく、「長く使われることを考えて作られていない」ものが、大量に作られるようになった、そういう時代に入つたという意識だろう。それらは「とりあえず使われる」ためのもので、長い間手もとに保管^{くわん}して愛^{あい}しむようには作られていないのだ、という認識。今、プラスチック容器などを溜^{ため}め込んで自宅がゴミ屋敷化するという事態が（ア）頻^{ひん}発するの、当人たちがこの辺の「意識」を取り込むことに抵抗があつた世代である可能性もあるし、人にはそもそも、ものを愛しみ、長く使い、手もとに置きたいという潜在的な欲求があるのだ、ともいえるかもしれない。古い家を修復して、住み継ぐこともまた。

破壊と創造を繰り返すことこそが、常に生き生きとした活性化への（経済の面でも）道だという考え方もあつただろうが、その結果がこうした使い捨て文化に繋^{つな}がり（注）デブリの（イ）堆^{たい}積を招き、どうしようもない（ウ）閉^{へい}塞^{さい}感の漂う世の中になつたと思えば、これはやはり、失敗だつたのだ。

長く愛しめるものに出会いたい。シンプルでうつくしいものに。さもないと土に還^{かえ}つてくれるものもいい。気に入つた収納や本棚がないとき、私は好んで段ボール箱を使つてきた。二重にするなど工夫をすれば紙であるのに力強く、積み重ねられるし、何より質素な雰囲気がいい。ホームレスの人たちが、段ボールを重宝する気持ちがわかる。プラスチック製品よりよほど肌に合い、温かそうな気がするのは、いつか土に還るという素性の確かさが感じられるからではないだろうか。長く使うものではない、という「諦め」が、あらかじめ段ボール製品には組み込まれていて、愛玩されることを B 雰囲気がある。愛着の持ちようがない。使い捨てなのに妙にデザインが（エ）秀^う逸^{いつ}で、捨てるたびに a 思ひのするようなプラスチック製品よりはよほど潔く、こちらに心情的な負担をかけない。

これもまた、長く使われることを考えて作られたわけではないのだ。……なのになぜか長く残ってしまう。

一箇所にセカンドハウスを持つより、ホテル滞在をする方が、メンテナンスや掃除等、いろんな面倒がなくて気軽だし経済的だ、という意見をよく聞く。確かに塵^{ちり}一つ落ちていない部屋や気持ちの良いシーツなど、ホテル滞在の楽しさはあるけれど、その空間で心からリラックスできるかといわれれば、何人の人ができると即答するだろう。そこはたいていの場合、いくなれば、初めて出会う場所なのだ。初めて会う人と共にいるように、どういう相手かわからない緊張が、そこはかたなくあるのではないだろうか。(オ) 翻^{ひる}つていえば、リラックスできる場所とはどんなところなのか。

以前、九州の山小屋に小さな和室を作ったときのことだ。家具は何も置いていないけれど、少しの滞在でも本は溜まる。その地方にしか置いていない類の本を、その地方の本屋で求めてしまうからだ。そこで、段ボール箱の側面を下にして、蓋部分を内側に折り、内部に本を並べた。他の部屋に置くには不自然だったので、その何もない和室に置いた。それだけで、何ともいえない **C** が、部屋に生まれた。なんというか、「自分の」家らしくなったのだ。こういうことは、例えばキャンプで設^{しつ}えたテントの内部でも起きる。小さな簡易テーブルを置いただけで、そこは自分の何かがくつろげる空間になる。

異国で知人が老人ホームに入居するときの手伝いをしたことがある。入ってまずしたことが、出窓に彼女がいつも家で使っていた織物を敷き、その上に彼女の愛する家族の写真を並べたことだった。どことなくよそよそしかつた部屋の空気はがらりと変わり、そこは彼女に属する「部屋」となった。

こういうものは、取り立てて長く使うことを目標にはしていない。段ボールの箱などは「とりあえず」もいいところだ。テント内のテーブルなど(ハ) いねずもがな。D それでもそれは、「家具」というものの本質を伝えてくれているように思う。過去に経験した、引っ越しの荷物が全部運ばれた後の、あのがらんとした寂しさの由縁もまた、そこにあつたのだろう。一瞬で、自分と何も関係のない場所になったような衝撃。家具と自分は、実はどういう関係にあつたのか。

どんな高級ホテルに泊まり、由緒ある家具調度にはれられしても、そこにはこの類のくつろぎはない。つまり、自分の場所、と感じられないのだ。置いてあるチェストにスーツケースの中身に移せば、それなりに落ち着くかもしれないが、長くて数日の滞在のために、そんな時間を割く気にはなれない。それをしたらさぞ優雅な気分になるのではないかと思うが、忘れ物を増やすのが目に見えていて未^{いま}だに実行したことがない。

本当の「落ち着き」やリラックスは、あるものを置くことで自分自身のなにかが外部に投影されたように感じ、さらにそう感じた場所が、むやみやたらな「侵入」から守られているとき生じるものではないだろうか。

自分の部屋、その空間を愛しむことは自分自身とうまく付き合っていく第一歩のような気がする。

(梨木香歩『炉辺の風おと』より。)

(注) デブリ — 破片。残骸。

問 1 傍線部 (ア) ～ (オ) の漢字の読みとして最も適当なものを、次の各群の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は と .

- (ア) ① ぼつぼつ ② ひんぱつ ③ らんぱつ ④ れんぱつ
- (イ) ① ちくせき ② るいせき ③ たいせき ④ さんせき
- (ウ) ① ひつそくかん ② くいさいかん
③ くんさいかん ④ くいそくかん
- (エ) ① しゅうえつ ② しゅうぱつ
③ しゅういつ ④ しゅうぜつ
- (オ) ① つくろ ② わだかま ③ さかのぼ ④ ひるがえ

問 2 空欄 に入る語句として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は .

- ① 胸がすく ② 胸が騒ぐ
③ 胸を打つ ④ 胸が痛む

問 3 傍線部 (b) 「いわずもがな」の本文中の意味として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は .

- ① 言わないほうがよい ② 言うまでもない
③ 言わないわけにいかない ④ 言っても仕方がない

問 4 傍線部 A「そういうものが目新しく感じられた時代」とあるが、筆者はどのような時代だったと考えているか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 20。

- ① とりあえず使われるためのもので、長い間手もとに保管して愛しむようには作られていないプラスチック製品が大量に出現したことの反動で、人々の多くが長く愛しめるものを求め始めた時代。
- ② 長く使われることを考えて作られていないプラスチック製品が大量に作られるようになり、破壊と創造の繰り返しこそが活性化への道だという考え方に誰もが従わざるを得なくなった時代。
- ③ 長い間手もとに保管して愛しむようには作られていないプラスチック製品が大量に作られるようになったため、ものを愛しみ、手もとに置いて長く使いたいという欲求を持つ人たちの反発を招いた時代。
- ④ 長く使われることを考えて作られていないプラスチック製品が大量に作られるようになったことで人々の生活観が一変して、現代の使い捨て文化の呼び水となるような事態が生じた時代。

問 5 空欄 B に入る語句として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 21。

- ① 自ら欲している ② 自ら拒絶している
- ③ 自ら期している ④ 自ら内包している

問 6 空欄 C に入る語句として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 22。

- ① 親和性 ② 流動性 ③ 無^む謬^{びやう}性 ④ 規則性

- 問 7 傍線部 D「それでもそれは、『家具』というものの本質を伝えてくれているように思う。」とあるが、筆者の考える「『家具』というものの本質」とはどんなところにあるか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 23。
- ① たとえ取り立てて長く使うことを目標にしていなくても、そこにあることで、その場所を部屋らしく感じさせるところ。
- ② それがあつたときではなく、なくなつたときになつて初めてそこがくつろげる空間であつたことを思い出させてくれるようなところ。
- ③ 空間に置くことで、自分自身のなかのなにかが外部に投影されたかのように感じさせ、そこが自分の場所だと感じさせてくれるところ。
- ④ 家具があることでその空間と自分との繋がり^{おろ}が自然と生じ、自分がどこにいるのかを意識せずともよいほどのくつろぎの空間を演出するところ。

問 8 この文章の構成・内容についての説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 24。

- ① 前半では膨大な量のプラスチックが廃棄される現代という時代を嘆きつつ、その現^{ありさま}状に抗おうとする自身の生活スタイルを紹介し、後半では長く使われることを目標にしていないものほどなぜか長く残ってしまう原因を、家具と部屋が生み出す空間のありようという観点から探っている。
- ② 前半ではプラスチック製品をはじめ長く使われることを考えて作られていないものにあふれる現代において自身が段ボール箱を好む理由を語り、後半では長く使われるものという観点から家具と自分との関係というものに話題を広げ、くつろげる空間のありようについて思いを巡らせている。
- ③ 前半では長く使われることを考えて作られていないものにあふれてしまっている現代の生活のありようを見直すことを自身の生活に触れながら提言し、後半では部屋と家具と自分との関係のあり方を踏まえて、本当にリラックスできる場所というものはどんなところなのかについて綴^{つづ}っている。
- ④ 前半では自身の記憶もたどりつつ、長く使われることを考えて作られていないものにあふれるような時代がどのようにして出現したのかを考察し、後半では長く使われることを考えて作られていないものであっても自分との関係性次第で、それを使う空間がリラックスできるものになることを語っている。

三 次の問い（問１～１１）に答えよ。解答番号は ～ 。

問 １ 次のア～ウの文の説明にあてはまる語句として最も適当なものを、後の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は ～ 。

ア 多くの要素が集まって一つにまとまること。

① 捨象 ② 涵養^{かんよう} ③ 協働 ④ 収斂^{しゅげん}

イ 物事の成り行き。

① 昇華 ② 趨勢^{すうせう} ③ 淘汰^{たうた} ④ 摂理

ウ 二つのものが大きくかけ離れていること。

① 懸隔 ② 差異 ③ 卑近 ④ 矛盾

問 ２ 次のア～ウの意味を表す語句として最も適当なものを、後の①～④のうちから、それぞれ一つずつ選べ。解答番号は ～ 。

ア 先天的。生得的。

① シニフィエ ② アプリオリ
③ シニフィアン ④ アポステリオリ

イ 神髄。物事の本質。

① オリジナル ② レプリカ ③ エッセンス ④ イデア

ウ 先入観。偏り。

① バイアス ② ニュアンス ③ カオス ④ デフォルメ

問 ３ 次の各文のうち、敬語の使い方の説明として誤っているものを、①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① 「お（ご）する」は、尊敬表現である。
- ② 「うかがう」は、「訪問する」「質問する」の謙譲表現である。
- ③ 「いらっしやる」は、「いる」「行く」「来る」の尊敬表現である。
- ④ 「です・ます」「ございます」は、丁寧表現である。

問 4 次の各文のうち、敬語の使い方が誤っているものを、①～④のうちから一つ選べ。解

答番号は 32。

- ① 「持ち帰り用の袋はお客様へ自身で持参ください。」
- ② 「先生は皆が作った作品を一覧になりましたか。」
- ③ 「母が今後ともお世話になりますと申しておりました。」
- ④ 「生ものですからお早めにいただいでください。」

問 5 次の各文の傍線部のうち、他と品詞が異なるものを、①～④のうちから一つ選べ。解

答番号は 33。

- ① この薬はさほど苦くないらしい。
- ② どこか遠くから声が聞こえる。
- ③ 雑務を手早く片づける。
- ④ 美しくも威厳のある山容を見せる。

問 6 次の各文の傍線部（助詞）のうち、他と種類が異なるものを、①～④のうちから一つ

選べ。解答番号は 34。

- ① 兄は自分の部屋で音楽を聴いている。
- ② 極度のストレスから体調を崩す。
- ③ 私より彼女のほうが適任だと思う。
- ④ 見上げるとと美しい青空が広がっていた。

問 7 次の各文の傍線部の「ば」のうち、他と用法が異なるものを、①～④のうちから一つ

選べ。解答番号は 35。

- ① 春になれば、ツバメが渡ってくる。
- ② 時間があれば、見に行きたい。
- ③ 雨がやめば、行こうと思っている。
- ④ 希望者が多ければ、開催を決定する。

問 8 次のうち、慣用句の表記として最も適当なものを、①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 36。

- ① 浮かぶ背もない ② 音頭を取る ③ 却光を浴びる ④ 口の葉に上る

問 9 次の四字熟語のうち、「自分にとって都合がよいように無理に理屈をこじつけること」という意味を表す語句として最も適当なものを、①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 37。

- ① 牽強付会 けんきやうふかい ② 縦横無尽 ③ 自業自得 ④ 夏炉冬扇

問 10 次の四字熟語のうち、「周囲の思惑ばかりを気にして、なかなか決断できないこと」という意味を表す語句として最も適当なものを、①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 38。

- ① 阿諛追従 あゆついしゆ ② 唯唯諾諾 ③ 曲学阿世 ④ 右顧左眄 うこもへん

問 11 次のうち、故事成語「舟に刻みて剣を求む」の意味として最も適当なものを、①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 39。

- ① 一度失敗したことに懲りて必要以上の心配をすること。
② こじつけてまでいいわけをする負け惜しみの強いこと。
③ 古い考えやしきたりにこだわって時代の変化に気づかないこと。
④ 方法が間違っていると物事が成就しないこと。

2024年度一般選抜Ⅱ期 国語 正解

国語

解答番号	正解	解答番号	正解
1	4	21	2
2	1	22	1
3	3	23	3
4	2	24	2
5	4	25	4
6	2	26	2
7	1	27	1
8	1	28	2
9	3	29	3
10	3	30	1
11	4	31	1
12	4	32	4
13	2	33	2
14	3	34	4
15	4	35	1
16	3	36	2
17	4	37	1
18	4	38	4
19	2	39	3
20	4		